



m程手前から、深沢左俣の下降を開始する。ヤブこぎもなく、沢へ。しばらくは何もないが、両側の山とも伐採の跡がみられる。やがて10mくらいのナメ滝と4mの滝が出てくるが、簡単に下れる。

14:40二俣着。その下には2, 3の滝があったが、特に問題もなく下降。15:10火打石沢出合到着。その後は林道を歩いて幕営地へ。 (記・加藤正和)

[タイム] 下降開始(13:40)→二俣(14:40)→火打石沢出合(15:10)

越ノ沢(下降), 1985年8月3日
L

台倉高山から引馬峠の方向に降り、平坦地になった所から越ノ沢めがけて下降を開始する。すぐにナメ床をもった沢に降り立つ。

1.5mの小滝を過ぎ、右から小沢を合わせながら水量はいくらかずつ増してゆく。それでもたいしたことはない。やがてその流れも伏流となってしまう、右岸からの沢と合流したあたりからまた水の流れが出てくる。さらに進むと、チョックストーンの滝があるが、滝はこれだけで、あとはなにもない。

やがて林道の跡に出て、右岸からの支沢を合わせる。沢床はそちらの方が低く、出合は荒れていて、広々としている。ここまで約1時間。

資料ではこの先林道の間までに滝があることになっていたが、沢は荒れていて、私達は滝を確認することはできなかった。 (記・)

[タイム] 台倉高山(10:40)→下降開始(10:55)→林道跡(11:50)→林道(12:15)→トヤス沢出合(13:30)

曲ノ沢, 1985年8月4日
L

林道を30分程歩き、曲沢出合近くのヘアピンカーブより沢に降りる。このヤブこぎは思ったよりひどく、ツルの類とタケがからみあって、いやな感じである。

出合は1m程の小滝になっており、その先ずっと兩岸ともホールド・スタンスが